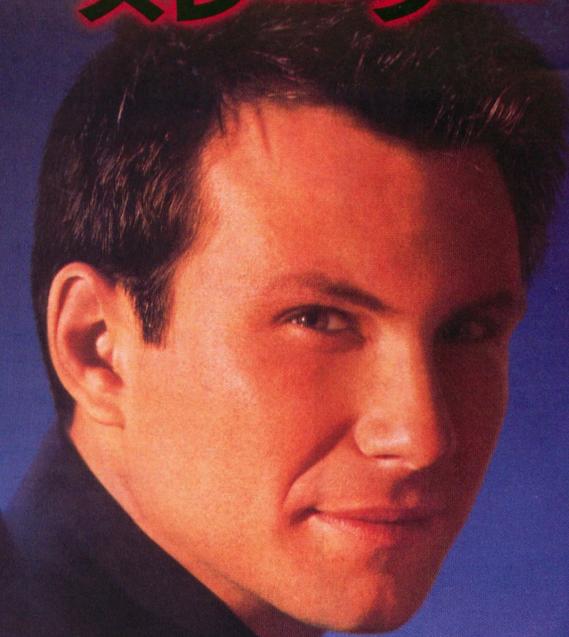
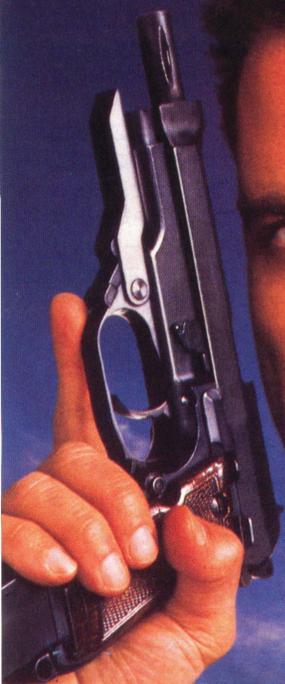


トラボルタ

スレーター



ジョン・ウー監督作品

ブローケン・アロー

『スピード』のグラハム・ヨスト 脚本



**BROKEN
ARROW**

核弾頭、紛失。誰が世界の危機を救うのか。

20世紀フォックス映画提供 マーク・ゴードンプロダクション WCGエンターテインメント提供 ジョン・ウーフィルム ジョン・トラボルタ クリスチャン・スレーター “ブローケン・アロー”

サマンサ・マンス テルロイ・リンド フランク・ホーリー ポブ・ガントン ハウイー・ロング 音楽ハンズ・ズイマー 編集ジョン・ライト、A.C.E. スティーブ・マーコビッチ、A.C.E. プロダクション・デザイナーホルガー・グロス 撮影ピーター・レビー、A.C.S.

監製アリソン・リオン・シーガン 製作クリストファー・ゴッドシック トワイト・リトル 脚本グラハム・ヨスト 製作マーク・ゴードン ヒル・バタラート テレンス・チャン 監督ジョン・ウー

サントラ音: BMGピクチャー ノベライゼーション: 竹書房文庫刊 協力: 宮田地下鉄 VISIT THE BROKEN ARROW WEB SITE AT <http://www.brokenarrow.com>



映画がいま、極限の壁を超える! 誰が、世界の危機を救うのか?

『スピード』『ダイ・ハード3』と、新しいハイパー・テンス(超緊張)・アクション路線で興行記録を更新してきた20世紀フォックス映画が贈る、究極の決定打がこの『ブロークン・アロー』だ。

『スピード』のオリジナルリティにあふれた傑作シナリオを書いた36歳のライター、グラハム・ヨストが、さらにスケールの大きい構想で、かつて見たこともない衝撃のストーリーとアクションを展開し世界を震撼させる。

“ブロークン・アロー”とは、行方不明の核兵器を示すペンタゴンの暗号のことだが、訓練中の米空軍機から2基の核ミサイルが盗まれる。パイロットのひとりディーキンス大佐(『パルプ・フィクション』でアカデミー主演賞候補になったジョン・トラボルタ)の仕業だった。

彼は親友ハール少佐(『トゥルー・ロマンス』『告発』で成長めざましいクリスチャン・スレーター)を犯人に仕立て、ソルトレイクシティを爆破すると2億5000万ドルを政府に要求する。

刻一刻と迫る爆発までのタイムリミット! 今、運命のカウントダウンが始まる!!

緊急事態勃発にペンタゴンの高官たちは戦慄と恐怖に震えながら、ハールと核ミサイルの操作に乗り出す。ディーキンスは共犯の5人の仲間と投下した核ミサイルを砂漠地帯で確保。

一方、国立公園の敷地内に落下したハールは、公園監視員テリー(『スーパーマリオ』のサマンサ・マシス)に出会い、彼女の協力を得てディーキンスの行方を追うことになる。

ディーキンスは、ハールが生きていることを知ると、仲間にも命じて彼の命を狙う。岩山に身を潜めるハールとテリーをヘリコプターから襲撃、空と陸での凄まじい銃撃戦。

さらに核ミサイルを積んだディーキンスのトラックを追うハールとテリーは、待ち伏せしたトラックに崖から飛び乗り、火炎地獄の炎に巻かれながらの決死のバトルを展開。ハールは核ミサイルを奪うのに成功する。

ハールは、廃坑となった深さ数千フィートの坑道の奥で爆弾の処理をしようとするが、そこでディーキンス一味に追い詰められ、絶対絶命の危機に立たされる。

爆発の主導権を握ったディーキンスは、部下に命じて制限装置を10分後にセットする。刻一刻と迫る爆発の危機。だが、それはドラマの序章に過ぎなかった。

想像を絶するノン・ストップ・アクションの波状攻撃が始まる。

天地爆走。

空・陸・水中とアクションは超過激。

ハリウッドが仕掛けた空前のスペクタクル!

親友に裏切られ、ディーキンス一味とペンタゴンから二重の追跡を受けながら、ハールは核爆発の危機を阻止できるのか?

スティルス戦闘機、戦闘ヘリ、暴走する列車の上から下へ、さらに激流の水中へとアクションは一段と過激になり、クリスチャン・スレーターの、スタントマンをほとんど使わない決死的な熱演が話題になっている。

監督は『男たちの挽歌』で香港フィルム・ノワールというジャンルを確立し、独自のアクション美学がクエンティン・タランティーノ監督などに影響を与えているジョン・ウー。彼の『ハード・ターゲット』につぐハリウッド第2作で、すぐれたシナリオとスターを得て見事期待にこたえた超大作だ。

『エイリアン2』でアカデミー特殊視覚効果賞受賞のSFXの巨匠ジョン・リチャードソンが特殊視覚を担当。彼の空中アクションは世界一で、今回も見事なスペクタクルを展開。『スピード』でアカデミー編集賞候補になり、『ダイ・ハード3』も手掛けたジョン・ライトが息をのむ編集で今回も最高の迫力を出し、超一級のスタッフが仕掛けた96年最大の話題作が日本を直撃する。



ブロークンアロー

●スタッフ●

監督.....ジョン・ウー
脚本.....グラハム・ヨスト
撮影.....ピーター・レビー
編集.....ジョン・ライト、A.C.E.
 スティーブ・マロビッチ、A.C.E.
特殊効果スーパーバイザー.....ジョン・リチャードソン

●キャスト●

ヴィック・ディーキンス.....ジョン・トラボルタ
ライリー・ハール.....クリスチャン・スレーター
テリー・カーマイケル.....サマンサ・マシス
長官.....ジャック・トンプソン
ケリー.....ハウィー・ロング

3月春休みロードショー

★特別鑑賞券発売中!
(一般¥1500/学生¥1300/ペア券¥2800)

有楽町マリオン11F 日本劇場	03 (3574) 1131	渋谷道玄坂・109前 渋谷シネタワー	03 (5489) 4210	新宿コマ劇場隣り 新宿プラザ	03 (3200) 9141	JR上野駅・しのぼず口 上野宝塚	03 (3831) 3431
---------------------------	-------------------	------------------------------	-------------------	--------------------------	-------------------	----------------------------	-------------------

わたしは、一生忘れない...
心を繋ぐ友達を。

ホイットニー・ヒューストン トニー・ブラクストン TLC、他...
いまをときめくアーティストが贈る 全篇を彩る魅惑のサウンド。

'96年・4月全国ロードショー -東宝洋画系にて-



ホイットニー・ヒューストン アンジェラ・バセット
ため息つかせて

♪♪♪ 20世紀フォックス映画提供 ロレッタ・テイバイン レア・ロコ
音楽ケネス・イベイフェイス/エドモンズ 原作テリー・マクラン